

# 「風の人」6号(通巻14号)THE MAN IN THE WIND

Free ! SHIROSAKI

98年5月10日発行

- 1 風の人 タクラマカン砂漠の風はどんな味がするのだろう
- 2 No6(通巻14号) '98. 5月号
- 3 年間購読代千五百円
- 4 城崎さんと共に浮かぶ会・神奈川
- 5 郵便振替 00260・4・86033
- 6 東京都港区新橋2-8-16石田ビル4F 救援連絡センター気付
- 7 川崎市幸区古川町66 関 博明
- 8 大和市大和東3-3-7~201(0462-61-8450) 桧森孝雄

元気にしてるようだなあ～、城崎さあ～ん

「どないしてるんやろなあ」と思っていたら救援関係に手紙があいつぎました。バーモントの連邦刑務所は外部と「住民」との交信を大事にしているようで、日本語の手紙は2週間、英語の手紙は1週間で着きました。翻訳体制がどの程度かまだはつきりとわかりませんが、日本語の手紙は時間がかかるものだと思っておいた方がいいようです。

前号で、いわば「着のみ着のまま」のテキサス移住をお伝えしましたが、ワシントンからの送金もあり、ラジオを購入し、切手の購入も不自由なくなった様子が垣間見られる手紙でした。

アーリントンやオクラホマのような、堪忍袋の緒が切れた訴訟覚悟！が懐かしくもあり、それなりの前提が感じられるテキサスからの便りでした。

ご存じと思いますが、紙表紙の印刷物なら何でも入るはずです。厚紙表紙の本や新聞は出版元などから送ってもらっています(つもりです)。

もう5月です。バーモントはメキシコ湾のヒューストンに近そうなところにあります。控訴審の便りも近いでしょうか。風、届け！(城崎さんと共に浮かぶ会・神奈川)

次の案内は、城崎さんの救援に関わるようになってから実り始めた試みです。人の息吹、歴史の知恵を一つでもいいから、水平線の彼方に見透かせたらと、もう一度、教わるつもりです。

## 5. 30 国際救援は今！

色とりどりのツツジが野山をにぎわす頃となりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

88年から始まった海外での政治-思想弾圧事件がここ数年連続しており、この傾向は当面の10年の幅で考えても減じることはないだろうとの観測から、実際に救援に携わって来られた方々から話を伺い、ザック paran に交わる集いを計画しました。

日本での救援は70年前後から30年近い蓄積があり、それなりの関係が救援連絡センターを中心に機能してきました。しかし、海外での被逮捕-裁判となると、その国や地域の人々との関係

づくりとともに、異なる司法—文化への理解と対応が求められ、そうした中で、実に様々な試行錯誤—失敗などを避けられなかった歩みだったと思います。そろそろ、それぞれが独立独歩で重ねてきた救援体験をお互いの経験としていく時期に入ったのかもしれませんが。

今回の集いはその試みの一つです。

お忙しい中とは存じますが、ご参加をお待ちしております。

日時； 5月30日 午後1時より

場所； 大阪府立青少年会館2F特別会議室

会費； 2千円 ～軽い軽食・飲料付きです～

報告予定 菊村憂さん救援会、城崎勉さん救援会、田中義三さん救援  
レバノン2. 15弾圧救援、その他

集い世話人 柴田泰弘、沼地義孝、檜森孝雄、渡辺亜人、山中幸男(救援連絡センター)、  
津林邦夫(人民新聞)

連絡先 救援連絡センター 03-3591-1301

Mr. T. Shirosaki

# 20924-016

U. S. P

POBox 26030

Beaumont. TEXAS

77720-6030

U. S. A